

令和2年7月31日(令和2年8月13日変更)

沖縄県緊急事態宣言

(期間:令和2年8月1日~29日)

- 7月以降、中南部を中心に感染拡大がはじまり、その後に宮古や八重山、北部にも拡大しており、県内全域が感染蔓延期(警戒レベル第4段階)に達している。
- 若者中心の感染拡大から高齢者にも移行し、集団感染は夜の繁華街のみならず、社会福祉施設、病院、学校等でも発生するなど、全世代や様々な社会分野に感染が拡大している。
- 多方面に感染が拡大している現段階において、感染拡大を封じ込めるためには県民一人一人の行動が最も重要であり、特に今後2週間は「新しい生活様式」に基づく徹底した行動変容が求められる。

- 1 沖縄県全域において、不要不急の外出自粛を徹底してください。
 - ・買い物は原則一人で行くようにしてください。
 - ・特に会食や会合など人が集まる場所への外出は控え、やむをえず実施する場合には少人数で行い、対面では座らない等の感染予防対策を行ってください。
 - ・夜10時以降の外出を控え、特に繁華街への外出は厳に自粛をお願いします。
 - ・濃厚接触者となった方については、PCR検査等で陰性となった場合でも2週間は自宅待機を含めたしっかりと健康観察をお願いします。
- 2 家庭内感染が増えています。家族であっても、高齢者や体調を崩している方との接触には注意してください。
- 3 事業者においては、テレワークの積極的な導入及び職場内の三密対策を徹底するとともに、会議や会合は必要最小限とするか、またはリモート会議を取り入れてください。
- 4 集団感染が発生した場合には直ちに発生源となる地域と業種を特定し、局所的に休業または時短要請を行います。

(現在の休業要請等実施状況)

- (1) 那覇市内の飲食店の営業時間を朝5時～夜 10 時まで短縮(令和2年8月1日から 15 日まで)
- (2) 那覇市松山地域の接待・接触を伴う遊興施設等の休業(令和2年8月1日から 15 日)
- (3) 宮古島市平良西里・下里地域、石垣市美崎町の接待・接触を伴う遊興施設等の休業(令和2年8月7日から 20 日)

※遊興施設等とは、キャバレー、ナイトクラブ、ライブハウス、スナック、ダンスホール、パブ等をいう。

5 感染防止対策を強化しつつ、経済活動への影響を最小限にとどめるため、事業者においては、「感染拡大予防ガイドライン」を遵守してください。県が実施している感染防止対策徹底宣言「シーサーステッカー」を是非活用してください。

6 社会福祉施設、病院など、重症者リスクの高い方が入居している施設等においては、管理者、職員、来場者等、全ての関係者において、特に感染防止対策の徹底をお願いします。

7 各学校においては、引き続き感染防止対策の徹底に努めてまいりますので、ご家庭におかれましてはお子様の健康観察にご協力いただきますようお願いいたします。

8 県民の皆様には、県をまたぐ不要不急の往来は自粛をお願いします。県外からの渡航については、慎重に判断していただきますようお願いします。

9 来島自粛を求めている離島への渡航は自粛をお願いします。また、その他の離島についても、離島の医療体制は脆弱であることから、本島と離島間、離島と離島間の移動については、必要最小限とするようお願いします。

10 県内イベントの開催については、オンライン開催や、感染防止対策を講じたうえでの分散開催または規模縮小をお願いします。感染防止対策を講じることができない場合、中止とするようお願いします。

※上記は、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 24 条第9項に基づく協力依頼です。

医療提供体制の拡充と感染拡大防止対策の強化

1. 受入体制強化

- ① 医療機関における病床確保数について、200床を425床に引き上げます。
- ② 宿泊療養施設について、現在の210室を340室まで増室し、状況に応じて、さらに拡大します。
- ③ 自宅療養者に対し、コールセンターによる健康観察に加え、食事・食材の配達等も実施し、安心して自宅にて療養できる体制を整備します。

2. 検査体制拡充

PCR 検査等を受けることができる、かかりつけ医ともなりうる107件のクリニック等と契約し、県医師会の協力を得て、県民に対する検査体制を拡充します。

3. クラスター対策強化

府内にクラスター対策チームを設置し、病院や社会福祉施設等におけるクラスターの未然防止、拡大防止に向けた取組を強化します。厚生労働省からの応援職員とも連携し、DMAT 等の派遣も含めて対応していきます。

4. 水際対策強化

那覇空港における TACO の体制増強により、那覇空港内における抗原検査を実施し、迅速な対策を行ってまいります。

5. 感染予防対策

感染防止対策徹底宣言「シーサーステッカー」の実効性を高めるため、PRの更なる強化と各種業界団体等と連携した取り組みを進めます。